

第1号様式（第4条関係）

地球温暖化対策計画作成（変更）報告書

年 月 日

（あて先）
戸田市長

提出者

主たる事務所の所在地
名称
代表者の氏名
〔個人事業者にあつては、住所及び氏名〕
電話番号

4 年度の地球温暖化対策計画を作成（変更）したので、戸田市地球温暖化対策条例第8条第3項（第6項）の規定により、次のとおり提出します。

業 種 名	番 号
燃 料 等 使 用 量	前年度の燃料等使用量の原油換算の合計量 0 kL/年
変更の場合	変 更 年 月 日 年 月 日
	変 更 の 理 由
連 絡 先	所 属 部 署 職 ・ 氏 名 電 話 番 号
備考	

- 注 1 作成・変更の別及び提出の根拠となる条項については、で囲むか、二重線で消すことにより特定すること。
2 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類（平成21年総務省告示第175号）に掲げる中分類の該当するものを記載すること。
() 燃料等使用量の原油換算合計量及び温室効果ガス（CO₂換算）総排出量に係る算出資料を添付すること。

地球温暖化対策計画廃止報告書

年 月 日

（あて先）
戸田市長

報告者

主たる事務所の所在地

名称

代表者の氏名

〔個人事業者にあつては、住所及び氏名〕

電話番号

年 月 日 付けで提出した地球温暖化対策計画を廃止したので、戸田市地球温暖化対策条例第8条第6項の規定により、次のとおり報告します。

廃止の理由		
連絡先	所属部署 職・氏名 電話番号	
備考		

地球温暖化対策実施状況報告書

年 月 日

（あて先）
戸田市長

提出者 主たる事務所の所在地
名称
代表者の氏名
〔個人事業者にあつては、住所及び氏名〕
電話番号

3 年度の地球温暖化対策計画の実施の状況について、戸田市地球温暖化対策

条例第8条第4項の規定により、次のとおり提出します。

業 種 名	番 号
燃 料 等 使 用 量	前年度の燃料等使用量の原油換算の合計量 0 kL/年
温 室 効 果 ガ ス (CO ₂ 換算) 総排出量	0 t - CO ₂ /年
温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況	
連 絡 先	所 属 部 署 職 ・ 氏 名 電 話 番 号
備 考	

- 注 1 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類（平成21年総務省告示第175号）に掲げる中分類の該当するものを記載すること。
2 燃料等使用量の原油換算合計量及び温室効果ガス（CO₂換算）総排出量に係る算出資料を添付すること。

4年度

事業所の戸田市地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

特定事業者の名称							
代表事業所名							
代表事業所所在地							
原油換算エネルギー使用量 (kL)	年度	2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)	5年度 (2023)	6年度 (2024)	7年度 (2025)
	使用量	0	0	0	0	0	0
産業分類名 (中分類)							
分類番号 (中分類)							
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、敷地面積、延べ床面積等)							

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 削減目標 (令和7(2025)年度まで)

計画期間		令和2(2020)	年度	~	令和7(2025)	年度
削減目標	エネルギー起源 CO ₂ (必須)	基準となる排出量		t-CO ₂	基準となる原単位	t-CO ₂ /
	その他の					

(2) 削減目標 (令和12(2030)年度まで)

計画期間		令和8(2026)	年度	~	令和12(2030)	年度
削減目標	エネルギー起源 CO ₂ (必須)	基準となる排出量		t-CO ₂	基準となる原単位	t-CO ₂ /
	その他の					

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策名称	内容	実施時期	備考
1				
2				
3				
4				
5				

5 市内のその他事業所等の所在地

	事業所等の名称	事業所等の所在地
1		
2		
3		
4		
5		

算定報告様式 : エネルギー起源CO₂

区分	単位	使用量						単位当たり発熱量	排出係数	
		2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)	5年度 (2023)	6年度 (2024)	7年度 (2025)			
原油 (コンデンセートを除く)	kL							38.2 GJ/kL	0.0187 t-C/GJ	
原油のうちコンデンセート (NGL)	kL							35.3 GJ/kL	0.0184 t-C/GJ	
揮発油 (ガソリン)	kL							34.6 GJ/kL	0.0183 t-C/GJ	
ナフサ	kL							33.6 GJ/kL	0.0182 t-C/GJ	
灯油	kL							36.7 GJ/kL	0.0185 t-C/GJ	
軽油	kL							37.7 GJ/kL	0.0187 t-C/GJ	
A重油	kL							39.1 GJ/kL	0.0189 t-C/GJ	
B・C重油	kL							41.9 GJ/kL	0.0195 t-C/GJ	
石油アスファルト	t							40.9 GJ/t	0.0208 t-C/GJ	
石油コークス	t							29.9 GJ/t	0.0254 t-C/GJ	
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	t						50.8 GJ/t	0.0161 t-C/GJ	
	石油系炭化水素ガス	千Nm ³						44.9 GJ/千Nm ³	0.0142 t-C/GJ	
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t						54.6 GJ/t	0.0135 t-C/GJ	
	その他可燃性天然ガス	千Nm ³						43.5 GJ/千Nm ³	0.0139 t-C/GJ	
石炭	原料炭	t						29.0 GJ/t	0.0245 t-C/GJ	
	一般炭	t						25.7 GJ/t	0.0247 t-C/GJ	
	無煙炭	t						26.9 GJ/t	0.0255 t-C/GJ	
石炭コークス	t							29.4 GJ/t	0.0294 t-C/GJ	
コークルタール	t							37.3 GJ/t	0.0209 t-C/GJ	
コークス炉ガス	千Nm ³							21.1 GJ/千Nm ³	0.011 t-C/GJ	
高炉ガス	千Nm ³							3.41 GJ/千Nm ³	0.0263 t-C/GJ	
転炉ガス	千Nm ³							8.41 GJ/千Nm ³	0.0384 t-C/GJ	
その他燃料	都市ガス	千Nm ³						45 GJ/千Nm ³	0.0136 t-C/GJ	
									t-C/GJ	
産業用蒸気	GJ							1.02 GJ/GJ	0.06 t-CO ₂ /GJ	
産業用以外の蒸気	GJ							1.36 GJ/GJ	0.057 t-CO ₂ /GJ	
温水	GJ							1.36 GJ/GJ	0.057 t-CO ₂ /GJ	
冷水	GJ							1.36 GJ/GJ	0.057 t-CO ₂ /GJ	
再生可能エネルギーの環境価値を移転した熱	GJ							1 GJ/GJ	0.057 t-CO ₂ /GJ	
電気	一般電気事業者	昼間 (8時 ~ 22時)	千kWh						9.97 GJ/千kWh	0.368 t-CO ₂ /千kWh
		夜間 (22時 ~ 翌8時)	千kWh						9.28 GJ/千kWh	0.368 t-CO ₂ /千kWh
	その他の買電	千kWh						9.76 GJ/千kWh	0.368 t-CO ₂ /千kWh	
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した電気	千kWh							0.368 t-CO ₂ /千kWh	
	再生可能エネルギーを自家消費した電気	千kWh							0.368 t-CO ₂ /千kWh	
合計	原油換算	kL	0	0	0	0	0	0		
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0		

算定報告様式：その他ガス

活動の規模	区分	単位	使用量						排出係数	
			2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)	5年度 (2023)	6年度 (2024)	7年度 (2025)		
廃棄物の焼却及び製品の製造用途への使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）	t							2.92	t-CO ₂ /t
	合成繊維	t							2.29	t-CO ₂ /t
	廃ゴムタイヤ	t							1.72	t-CO ₂ /t
	合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物に限る）	t							2.55	t-CO ₂ /t
	その他の廃プラスチック類	t							2.77	t-CO ₂ /t
	ごみ固形燃料（RPF）	t							1.57	t-CO ₂ /t
	ごみ固形燃料（RDF）	t							0.775	t-CO ₂ /t
廃棄物燃料の使用	廃油（植物性のもの及び動物性のものを除く）から製造される燃料油	kL							2.63	t-CO ₂ /kL
	廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く）	kL							2.62	t-CO ₂ /kL
	ごみ固形燃料（RPF）	t							1.57	t-CO ₂ /t
	ごみ固形燃料（RDF）	t							0.775	t-CO ₂ /t
セメント製造	t							0.502	t-CO ₂ /t	
生石灰の製造	石灰石	t							0.428	t-CO ₂ /t
	ドロマイト	t							0.449	t-CO ₂ /t
ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造	石灰石	t							0.440	t-CO ₂ /t
	ドロマイト	t							0.471	t-CO ₂ /t
ソーダ灰の製造	t							1	t-CO ₂ /t	
ソーダ灰の使用	t							0.415	t-CO ₂ /t	
アンモニアの製造	石炭（一般・輸入）	t							2.3	t-CO ₂ /t
	ナフサ	kL							2.2	t-CO ₂ /t
	オイルコークス	t							2.8	t-CO ₂ /t
	液化石油ガス（LPG）	t							3	t-CO ₂ /t
	液化天然ガス（LNG）	t							2.7	t-CO ₂ /t
	天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く）	千Nm ³							2.2	t-CO ₂ /千Nm ³
	コークス炉ガス	千Nm ³							0.85	t-CO ₂ /千Nm ³
石油系炭化水素ガス	千Nm ³							2.3	t-CO ₂ /千Nm ³	
シリコンカーバイドの製造	t							2.3	t-CO ₂ /t	
カルシウムカーバイドの製造	生石灰の製造	t							0.76	t-CO ₂ /t
	生石灰の還元	t							1.1	t-CO ₂ /t
エチレンの製造	t							0.014	t-CO ₂ /t	
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用	t							3.4	t-CO ₂ /t	
電気炉を使用した粗鋼の製造	t							0.005	t-CO ₂ /t	
ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量	t							1	t-CO ₂ /t	
噴霧器の使用によるCO ₂ 排出量	t							1	t-CO ₂ /t	
合計	t-CO ₂		0	0	0	0	0	0		
その他温室効果ガス	メタン	t-CH ₄							25	t-CO ₂ /t-CH ₄
	一酸化二窒素	t-N ₂ O							298	t-CO ₂ /t-N ₂ O
	ハイドロフルオロカーボン	t-								t-CO ₂ /t-
	パーフルオロカーボン	t-								t-CO ₂ /t-
	六フッ化硫黄	t-SF ₆							22800	t-CO ₂ /t-SF ₆
	三フッ化窒素	t-NF ₃							17200	t-CO ₂ /t-NF ₃